
	<h2 style="margin: 0;">「わが家で生きる」を考える</h2> <p style="margin: 0;">～自宅での療養生活をテーマに講演会を開催～</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;">事前のお知らせ</div>
と き	10月2日(日) 午後2時～4時
と ころ	ココネリ3階(練馬1-17-1)
<p>区内で在宅療養を推進する取組の一つとして、区は10月2日、「在宅療養講演会～今、みんなで知っておく自宅での療養生活～」(参加費無料・先着200名)を開催する。</p> <p>フリーアナウンサーで映画監督の長谷川ひろ子氏が夫を自宅で看取った経験をもとにして制作したドキュメンタリー映画「いきたひ～家族で看取る～」を上映後、長谷川氏の講演や映画に出演する医師(松原アーバンクリニック・吉田恭子氏)との対談を行う。</p> <p>講演会を通して、自宅での療養生活・看取りの現場を紹介し、病院などの施設における療養の他に「在宅療養」という選択肢があることについて、理解を深めていただくことをねらいとしている。</p> <p>また、来場者には、練馬区の在宅療養を紹介しているガイドブック「わが家で生きる」を配布する。</p> <div style="float: right; text-align: center;">  <p>▲長谷川ひろ子監督</p> </div>	

【練馬区における課題】

高齢者等が住み慣れた自宅で安心して療養ができる体制を構築するため、区では、平成25年度に医療・介護関係者等からなる「在宅療養推進協議会」を設置。

現在は、平成28年度から平成30年度を計画期間とし、本協議会で挙げた「多職種の連携強化」、「サービス提供体制の充実」、「区民への啓発・家族への支援」「在宅療養の現状の経年的把握」といった課題について、解決に向けた取組を順次検討・実施している。

【課題解決に向けた取組】

区では、平成26年度から区内医療・介護関係者が一堂に会し、職種間の相互理解と連携強化をねらった「事例検討会・多職種交流会」を定期的に開催している。また、在宅療養ガイドブックや認知症ガイドブックの作成・配布による区民への啓発など、さまざまな取組を進めている。

今後は、医療・介護・福祉資源調査の実施や在宅療養サービスを提供する事業者間の実務における情報共有ツールの検討等を進め、区民が安心して在宅療養をすることができる環境整備に取り組んでいく。

【参考】練馬区在宅療養ガイドブック「わが家で生きる」

発行日：平成27年10月

発行部数：30,000部(平成28年度増刷予定)

配布場所：高齢者相談センター、高齢者センター、敬老館、保健相談所、
区民事務所、出張所、地区区民館、図書館

内 容：自身や家族に医療や介護が必要になった時、住み慣れた自宅で最
期まで安心して生きる、という選択肢を考えるきっかけとなるよう、
在宅療養の仕組みや自宅で受けられる医療や介護のサービスについて
わかりやすく紹介している。



▲「わが家で生きる」

【問い合わせ】練馬区 地域医療課 練馬光が丘病院担当係 電話03-5984-4673